



よしだつうしん

吉田通心

第126号
【2025年3月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通心は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一人通信です■■

◆疎遠な檀家さんを減らすために◆

こんにちは。お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通心第126号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、先日、3月11日に新潟市秋葉区仏教会の総会後に行われた勉強会に参加してきました。今回、その勉強会の講師を私が探し、東京でお寺様の経営などを取材されているジャーナリストの方に来ていただきました。当日の参加者は40人程度。講師の方が『少子化時代における寺院運営』というテーマで、寺院運営をしていく上で次の3つが大事だということを軸にお話してくださいました。1. 檀家を増やす。2. 檀家流出を抑える。3. 疎遠な檀家を減らす。

お話を聞いて、個人的に印象に残ったのが、「3」の中で出てきたお寺のトリセツ（取扱説明書）を作るというお話です。今いる檀家さんを守り、接点を増やすためにお葬式も大事ですよという話から始まり、ただ、そのお葬式の流れ、今何をやっているのか、そういう説明がありませんよねと。神道のお葬式にはそれがあり、説明をしてくれる。葬儀に限らず、年忌法要とはどういうものなのか、その準備や日程の決め方、行き着くところは御布施はどうすればいいのかまで、お寺のトリセツを、A3用紙を二つ折りにした簡単なものでいいから、それぞれのお寺さんで作ってみてはどうですか？というお話を聞き、私もたしかにそうだなあと思いました。

今回の勉強会に参加されたお寺さんからは、こんなお声がありました。「お寺のトリセツ作り、葬儀の説明等、内容は必要だと思う。トリセツまではいかないが、【〇〇寺 仏事のススメ】みたいなのを作りたいと思っていて、作る時はまた相談させてほしい」「儀式の説明は必要かもしれないなあ。お経読んでても理解してないなあって思うよ」「トリセツは聞いてなるほどなって思った。若いのはお経の意味とか分からないから。トリセツもどういうやり方が良いか考え中だけど色々試していかないとね」と。



お寺のトリセツ作りというところに興味を持たれた方が多い印象で、私たち吉運堂としても、これら資料作りにお役に立てることがあれば幸いと思っています。

◆発行者コラム◆

今回もまた最後までお読みいただきまして、どうもありがとうございます。さて、桜の開花が待ち遠しい春ですが、例年、私は自分の車のタイヤ交換が後回しになってしまい、3月末や4月頭になってしまっていました。さすがに遅すぎるだろうと思い、また今年の1月はあまり雪も降らず、大雪の長期予報はハズレたなと思い、早めに予約を取って2月28日に交換。ところが、3月3日の朝から雪！午後には解けてくれましたが、天気予報は信用しなければと反省しました。吉田竹史

■■吉田通心を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが025-372-1138までご連絡をお願いいたします。■■

【発行者プロフィール】

名前：吉田 竹史（よしだ たけし）
生年月日：昭和40年8月21日（O型）
出身地：新潟県白根市（現・新潟市南区）
経歴：都内の学校を卒業後、証券会社（水戸 & ニューヨーク）の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味：上手くないゴルフ、強くない将棋
（NHKの将棋対局を見ることは好きです）
家族構成：妻、娘、息子



吉田 竹史